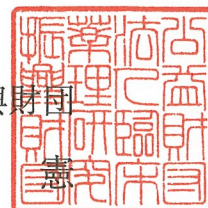


2020年6月

各 位

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団

理事長 廣 川 和



2020年度（第45回）臨床薬理研究振興財団  
「研究奨励金」交付候補者募集のご案内

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚誼を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では、研究奨励金交付候補者を下記のとおり募集することになりましたのでご案内申し上げます。

つきましては、募集要項をご送付申し上げますので、ご推薦をよろしく  
お願い申し上げます。

謹 白

記

交付金額：1件200万円

交付件数：20件程度

連絡先

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団

〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10

T E L : 03-3243-9021

F A X : 03-3243-9511

E-mail : rinyaku@daiichisankyo.co.jp

U R L : <https://www.rinyaku-fdn.or.jp>

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団  
2020年度（第45回）研究奨励金交付募集要項

1. 募集の趣旨

本財団は、世界に通ずる臨床薬理研究を積極的に奨励推進し、臨床薬理学の普及と臨床薬理研究者の育成を助成・促進する目的で設立されました。

従って、この目的に貢献すると判断される研究者に奨励金を交付します。

2. 募集する研究分野

臨床薬理研究

－「ヒト」を対象とした臨床研究及びそれを支える臨床応用のための研究－

3. 応募資格

臨床薬理研究に従事、またはそれを志す研究者

ただし、

1) 国内の大学、研究機関及び医療機関に所属する研究者

2) 45歳未満（2020年4月1日現在）の研究者を対象とします。

【1975年4月2日以降の出生者】

3) 過去3年以内【2017年度以降】に当財団の「研究奨励金」を受領された方は対象外とします。

4) 単一施設研究の場合は研究代表者、多施設共同研究は研究推進グループの代表者

5) 外国で行う研究は対象外とします。

\*産休・育児休暇等の理由で研究活動を中断された研究者では、その期間に応じて年齢上限を考慮します。詳細は事務局までお問合せください。

4. 交付件数及び交付額

2020年度の交付対象研究は20件程度とし、1件につき200万円を交付します。

5. 応募手続き

(1) 交付申請

当財団の申請サポートシステムにアクセスし、マイページ登録後、申請の流れに従って、研究奨励金の応募に必要な情報を登録してください。申請書別紙、及び推薦書は、書式ファイルをダウンロードして、記入後の用紙をPDF化して、アップロードしてください。

申請書類を財団事務局にて確認後、申請者に受付番号発行のメールを送付します。

(2) 推薦者

応募希望者は、所属機関の長（医・歯・薬科大学学長、学部長、研究科長、病院長、研究所長、センター長など）の推薦を得てください。教授の役職名では推薦できません。（推薦件数：1推薦者につき1件とします。ただし、推薦者が複数の所属機関の長を兼務している場合は、それぞれについて推薦できます。）

(3) 応募締切日

交付申請は2020年8月31日（月）17:00までに応募をお願いします。

## 6. 選考方法

当財団の選考委員会において、2020年11月中旬までに選考し、理事会で決定します。

< 選考基準 >

- ・ヒトを対象とした臨床研究、及び臨床への応用の成果が期待出来る研究
- ・研究計画（内容、及びスケジュール等）が十分に検討されている研究
- ・ヒトを対象とした臨床研究の場合は、倫理審査委員会等で承認済、又は申請中であること
- ・特定臨床研究に該当する場合は、認定臨床研究審査委員会承認済、又は申請中であること
- ・臨床薬理研究者の育成に繋がる研究であること

## 7. 採否の通知

2020年11月中に、申請者宛採否を通知します。

## 8. 奨励金の交付期日

2020年12月～2021年2月末日までに行います。

交付金は、原則として大学等所属機関への奨学寄付金で受け入れて頂きます。

## 9. 奨励金受給者の義務

- (1) 受給者は、奨励金の収支に関する書類を整理保管し、2022年10月末日までに、収支報告書を財団理事長に提出すること。
- (2) 受給者は、2022年10月末日までに研究報告を財団理事長に提出すること。

## 10. その他

- (1) 受給者から提出された研究報告は、当財団発行の研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載します。
- (2) 研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された研究報告の中から、優れた研究を「臨床薬理研究振興財団研究大賞」として表彰します。
- (3) 受給者は、氏名、所属機関、研究テーマが公表されますのであらかじめご了承ください。
- (4) 本研究に関して学術雑誌に発表の場合には、“公益財団法人 臨床薬理研究振興財団（英文の場合は Japan Research Foundation for Clinical Pharmacology）の助成による”旨を書き添え、リプリント1部を当財団に提出してください。
- (5) 申請書の個人情報並びに申請内容は、当財団の助成事業を遂行する範囲でのみ利用します。
- (6) 受給者は、日本臨床薬理学会にその研究成果を発表されることが望まれています。

連絡先

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団

〒103-8234 東京都中央区日本橋 3-14-10

T E L : 03-3243-9021

F A X : 03-3243-9511

E-mail : rinyaku@daiichisankyo.co.jp

U R L : <https://www.rinyaku-fdn.or.jp>

公益財団法人  
臨床薬理研究振興財団

Japan Research Foundation  
for Clinical Pharmacology



2020年6月

## 臨床薬理研究振興財団の使命

薬物療法を支える臨床薬理学の重要性が高まる今日

- 臨床薬理学を奨励
- 臨床薬理研究者の育成

に助力し以って、

わが国における新しい科学技術の開発と応用

そしてイノベーションに貢献することである



理事長 廣川 和憲

## 設立趣意書

医学・薬学の進歩、発展は、数多くの優れた医薬品の出現をもたらし、薬物療法の医療の場に占める役割は、ますます重要となって来ております。薬物療法の重要性と相俟って、その合理的確立を図ることが必要とされるに至り、ここに基礎、臨床の科学的橋渡しとしての臨床薬理学の重要性が認識され、その拡充、発展が要望されるに至っております。しかしながら、わが国における臨床薬理学の現状をみる時、その必要性、重要性に拘らず立ち遅れの感を否定することはできません。

臨床薬理学は、単に臨床に直接関連を有する薬理学の一部分と解されるものではなく、薬理学を基礎として、人間における薬物の有効性、安全性ならびにその正しい使い方の科学を確立するために必要なすべての知識と方法に関与する学問であり、他の基礎科学および臨床医学各科との協力の上に成り立つものであります。

そしてまた、人間を直接の研究対象としていることから、倫理的にも対処を要求されるものであり、自然科学のみならず、道徳、法律、あるいはまた社会的影響などの人文、社会科学的な面からの対応を要求される広範な学際領域であります。

疾病を予防し、また治療することによって、人類の保健衛生、福祉の向上を図るために、より有効でより安全な薬物の出現とその正しい使い方の確立は、誰もが強く期待するものであります。

わが国においても、近年各種の領域にわたって新薬が開発され、医療の場に提供されております。しかしながら、このような状況下において臨床薬理学の現状は、上述の通り十分でなく、早急にその発展を期すべき必要性が痛感されるところであります。

これがためには、臨床薬理研究の積極的な奨励、推進と臨床薬理学者の育成を図ることが肝要であり、これらに要する資金的な助成が渴望されるのであります。

このたび、第一製薬株式会社より創業60周年を記念して、わが国における臨床薬理研究の振興に役立てるべく、収益の一部をその資金として提供したい旨申し出がありました。

よって、ここに我々は、財団法人 臨床薬理研究振興財団を設立すべく、その設立発起人となり、わが国における臨床薬理研究の奨励と、臨床薬理学者の育成に寄与せんとするものであります。

当財団の事業を通じ、わが国の医学・薬学の発展と国民の保健衛生向上の一助として寄与できることを切に願うものであります。

昭和50年9月4日

### 設立発起人

石黒 武雄	石館 守三
岡本 道雄	冲中 重雄
砂原 茂一	武見 太郎
山村 雄一	

## 事業のあゆみ

1975年	9月に臨床薬理研究振興財団設立
1976年	研究奨励金、海外留学等補助事業の開始
1981年	「臨床薬理の進歩」発刊
1990年	日本臨床薬理学会「臨床薬理研究振興財団賞」創設、研究助成金の開始
1997年	臨床薬理学「集中特別講座」の開始(2001年、第5回をもって終了)
2002年	国際共同研究助成金の創設(2015年度より募集休止)
2005年	設立30周年を期し、研究奨励金と研究助成金を統合した新たな「研究奨励金」に、また海外留学助成事業を見直し、「海外留学助成金」をスタート
2008年	第1回研究報告会開催、第1回臨床薬理研究振興財団研究大賞表彰 (臨床薬理研究振興財団研究大賞:「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から数編を選出、研究報告会で表彰後に講演発表)
2010年	12月に内閣府より公益財団法人として認定される
2015年	設立40周年を迎え「特別研究奨励金」を新設(2017年度で終了)、 交付者を対象とした「研究活動等に関するアンケート調査」実施
2016年	2月に設立40周年記念式典・記念贈呈式、第8回研究報告会を開催、8月に第1回臨床薬理学集中講座を開講
2019年	研究奨励金、海外留学助成金等 累積総交付件数1028件、第12回研究報告会開催
2020年	第5回臨床薬理学集中講座開講予定

## 主な公益目的事業 (詳細は募集要項、Webサイトを参照)

### 研究奨励金 (公募:6月中旬～8月末)

募集研究分野:臨床薬理研究

「ヒト」を対象とした臨床研究 及びそれを支える臨床応用のための研究

応募資格:臨床薬理研究に従事、またはそれを志す45歳未満の研究者  
(過去3年以内に当財団の「研究奨励金」を受領された方は対象外)

交付金額:1件200万円

交付件数:20件程度

### 海外留学助成金 (推薦:6月中旬～8月末)

推薦依頼先:財団理事、評議員、顧問、指定講座教授等

応募資格:①臨床薬理研究を志す40歳未満の研究者  
②翌年1月から12月に出発する者

交付金額:1名につき年額350万円(以内)原則として2年間交付

交付件数:2名以内

### 臨床薬理学集中講座

日程:7月下旬～8月上旬の2泊3日

会場:NEXUS HAYAMA

神奈川県葉山町(湘南国際村)

対象:45歳以下の医師 及び  
40歳以下の薬剤師 等

定員:35名程度

### 臨床薬理研究振興財団賞

日本臨床薬理学会にて募集、選考

学術奨励賞:1件300万円、1名

学術論文賞:1件50万円、若干名

※詳細は日本臨床薬理学会のWebサイトを参照

## 役員(理事・監事)・評議員・顧問(50音順)

理事長	廣川 和憲	第一三共株式会社 顧問	評議員	乾 賢一	京都大学 名誉教授 京都薬科大学 名誉教授・客員教授	
常務理事	池上 卓志	公益財団法人 臨床薬理研究振興財団		江口 正夫	海谷・江口・池田法律事務所 弁護士	
理事	大内 尉義	東京大学 名誉教授 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 顧問		大野 竜三	愛知県がんセンター 名誉総長	
	大橋 京一	大分大学 名誉教授		小口 勝司	昭和大学 理事長	
	岡 希太郎	東京薬科大学 名誉教授		岸本 忠三	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任教授	
	川合 眞一	東邦大学 名誉教授 東邦大学医学部 炎症・疼痛制御学講座 教授		楠岡 英雄	独立行政法人 国立病院機構 理事長	
	杉山 雄一	東京大学 名誉教授 理化学研究所イノベーション推進センター 杉山特別研究室 特別招聘研究員		猿田 享男	慶應義塾大学 名誉教授 医療研修推進財団 顧問	
	戸塚 恭一	東京女子医科大学 名誉教授 北多摩病院 副院長		柴崎 正勝	東京大学 名誉教授・北海道大学 名誉教授 公益財団法人 微生物化学研究会 理事長 微生物化学研究所長	
	中野 重行	大分大学 名誉教授 一般財団法人臨床試験支援財団 理事長		中山 讓治	第一三共株式会社 代表取締役会長	
	成宮 周	京都大学大学院医学研究科 メディカル・イノベーションセンター長		御子柴克彦	上海科技大学免疫化学研究所 教授 東邦大学理学部 特任教授 東京大学 名誉教授	
	野村 隆英	藤田医科大学 名誉教授 愛知みずほ大学大学院人間科学研究科 特任教授		顧問	海老原昭夫	古河病院 顧問
	藤村 昭夫	自治医科大学 名誉教授 巨樹の会 学術顧問 山口東京理科大学 客員教授		森田 清	元第一三共株式会社 会長	
	宮坂 信之	東京医科歯科大学 名誉教授				
	渡邊 裕司	浜松医科大学 理事・副学長				
監事	加村 典正	元第一三共株式会社 顧問				
	杉山 正治	公認会計士・税理士				

2020年6月 現在

## 公益財団法人 臨床薬理研究振興財団 Japan Research Foundation for Clinical Pharmacology

〒103-8234 東京都中央区日本橋3丁目14番10号  
TEL 03-3243-9021 FAX 03-3243-9511  
Webサイト <https://www.rinyaku-fdn.or.jp>  
e-mail [rinyaku@daiichisankyo.co.jp](mailto:rinyaku@daiichisankyo.co.jp)

設立期日：昭和50年9月25日  
出捐者：第一三共株式会社、有志者  
基本財産：10億43百万円(2019年3月31日)